

ビジネス・イノベーション研究部会動要綱

活動目的

ビジネス環境の変化に俊敏に対応し、絶え間ないビジネス変革を継続するために、経営戦略上の施策実現にこれまで以上、深くかつ密接にIT 基盤を対応させることが不可欠となっている。

昨今、EA (エンタープライズ・アーキテクチャ)は、その実現方法の1 つとして注目されている。

当部会では、経営目標、経営計画を反映し、ビジネスとIT を明確に関連づけるため、ビジネスモデルの記述方法、ビジネスプロセスの分析・表現手法、対応するシステムの設計方法を研究する。

研究成果の検証のため、現実にあるビジネス・ケースをサンプルにビジネス・ビジョンの理解からビジネスモデルの記述、ビジネスプロセス・モデリング、システム構築まで模擬的に試行するタスクフォースを立ち上げ知見を得る。

活動内容

- ・ビジネスアーキテクチャ記述に関連する規格およびツールの調査
- ・ビジネスモデル定義方法、ビジネスプロセス・モデリング手法の研究
- ・ビジネスアーキテクチャからシステムアーキテクチャの関連付け方法の研究
- ・ビジネスプロセス・モデリングからシステム構築に至る実証検証

2005 年の重点施策

2004 年度の後半 SOA 部会とともに開始した「ビジネスプロセス記述とサービス設計の試行」プロジェクトの活動を継続し完遂する。モデル駆動によるビジネスアーキテクチャとシステムアーキテクチャの接合方法を中心に調査・研究する。

- (1)SOA 部会との協同研究：ビジネスプロセス・モデルからのサービス設計方法
- (2)BPMI.org 等ビジネスアーキテクチャ関連標準規格の調査
- (3)関連有識者を招聘したセミナー開催
- (4)関連外部諸団体との連携による情報共有と協同研究

活動方法

- ・新年度に向けてのオリエンテーションを他の関連部会と合同で開催
- ・月例ミーティングでの Face-to-face のディスカッション
- ・メーリングリストによる日々の情報交換、ディスカッション
- ・SOA 部会とのコラボレーション(ミーティングの同日開催、メンバー交流)
- ・参加メンバー個人による個別テーマや事例の調査
- ・XML コンソーシアム他部会および他団体との協調による普及推進
- ・Web ページ、雑誌記事、出版など外部向けコンテンツの作成
- ・XML コンソーシアム Day、XML コンソーシアム Week での活動報告

ワーキング・グループ

当初、部会内にワーキング・グループを設置せずメンバー全員でディスカッション、研究を実施する。

対象者

IT ユーザー企業業務企画部門、IT ユーザー企業情報システム部門、S/W 提供ベンダー導入支援部門、SI ベンダー上流工程担当部門等、ビジネスとIT の関連付けや融合の方法について興味のある方。ビジネスプロセス・モデリング初心者参加を前提に活動する。

会員メリット

初級レベルから段階を踏んだメンバーのスキル・アップ
・ビジネスアーキテクチャ関連情報・ノウハウの獲得
・参加メンバーによる情報交換、人的ネットワークの確立

体制

リーダー/サブリーダーは2005年度の最初のミーティング(6月を予定)で決定する。

候補

牧野友紀 日本ユニシス

天野富夫 日本IBM